

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 章レンタカー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・企業グループ全体で明文化し社内に掲示、朝礼で唱和するなどして社員で共有及び実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・業務に関して遵守べき法令について、社員に周知し遵守を徹底している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先からの不正交渉がないか確認している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・肥後銀行SDGsサステナビリティ推進室の指導を頂き、SDGs委員会を立ち上げた。委員会メンバーが中心となり、環境や社会に配慮した企業活動に取り組んでいる。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・【予定】知的財産に関する知識を学ぶ為、研修や勉強会などを2022年10月までに予定している。								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客からお預かりした個人情報及び社員に関する個人情報については、外部に漏らさない様に保管場所を設定し、厳重に保管している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・アンケート等を通じて得られる顧客の声(特に苦情)を大事にし、社員同士で共有する事で業務の改善に繋げている。																16		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用や採用にあたり差別的な待遇を決して行わない事を徹底している。 ・社内にポスターを掲示してハラスメント防止対策を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・企業グループで統括安全衛生委員会を設立している。 ・業務上の交通事故を防止する為に社員に安全運転の徹底を呼びかけている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・弊社は味岡建設㈱、㈱味岡マネジメントサービスの従業員より運営を行っており、両社とも適切にガイドラインに沿った体制・運営を実施している。					5.5			8.5 8.8	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・2019年4月から働き方の見直しを実施し、長時間や時間外労働を防止するよう取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・保険会社や自治体などのカンファレンスや講習会に参加している。 ・社内でもOJTの体制を構築し、人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年に3回ほど健康診断を受けている。 ・賃貸事務所は全館禁煙となっている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者雇用し、適正に応じた職務に就けるよう職場環境を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・会議をWebにしてリモート化するよう取り組んでいる。 ・打ち合わせや相談などもリモートを活用している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12						
	21	【ブライ特企業】 ・ブライ特企業に認定されている。	●						3	4			8	9		12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 章レンタカー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物、廃油は専門業者に依頼し定期的に収集してもらっている。 ・廃車は再利用として専門工場に下取りして適切な取り扱いを行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2020年燃費基準達成車かPHVなどの次世代自動車への車両入替を2022年10月までに1台、その後も古い車両から車両入荷を予定している。 ・【予定】2022年10月までにエネルギー簡易計算シートを活用し、エネルギー使用量の把握及び削減を予定している。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年10月までにCO ₂ 簡易計算シートを活用し、CO ₂ 排出量を算定し社内のエアコンの温度を設定する等、排出の把握及び削減を予定している。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・洗車水は地下水を使用し、環境に悪影響が及ぼないように配慮している。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化に努めるため、FAXのやり取りを減らし、メールでやり取りをするよう取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内で水を出しつぱなしにしないなどの節水の呼びかけと徹底、汚水などの適切な処理を実践している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エンジンオイルやタイヤを購入する際は、できる限り環境性能の高い商品を購入するよう取り組んでいる。							9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年10月までに賃貸事務所の一部を壁面緑化することを予定している。										11.6 11.7	13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2 13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・一部の保険料が鎮守の森のプロジェクトの支援に活用され苗木が植樹されている。				6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2 13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減等に取り組んでいる。 ・水筒やコップを持参し、ペットボトルの使用削減に取り組んでいる。										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・【予定】2020年燃費基準達成車かPHVなどの次世代自動車への車両入替を2022年10月までに1台、その後も古い車両から車両入荷を予定している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8 13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 章レンタカー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・5S活動(整理、整頓、清潔、清掃、美)に取り組んでいる。 ・3・6点検(車両の3か月、6か月の定期点検)を徹底している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・福祉車両を1台導入しており、地域の福祉に貢献している。 ・車高が高い車には乗入口に台を配置して乗り降りが楽になるようにしている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7							12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・福祉車両を1台導入しており、地域の福祉に貢献している。 ・車高が高い車には乗入口に台を配置して乗り降りが楽になるようにしている。 ・観光客(外国人含む)の利用もあり、地域の交通インフラとして地域観光の振興に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●	●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域団体によるボランティア等向けに特別価格帯を設定することで、社会貢献活動を支援している。 ・災害発生時に、子どもの通学等に利用されるなど地域の移動手段として活用頂ける体制を整備している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・地域のハザードマップを即座に確認できる場所に配置している。 ・社内の緊急連絡網等の整備し、社員の確実な安全確認と共に、災害時対応出来る様に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・防災管理者の資格を取得し、地域消防団の活動に参加している。 ・災害発生時に、子どもの通学等に利用されるなど地域の移動手段として活用頂ける体制を整備している。	1.5		3	4					10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・企業財産保険等の災害関連の商品を多く取り扱っており、災害時は速やかな対応が出来き、金銭面的に負担も軽減出来る。 ・顧客に対し防災意識が高まる様な商品を販売促進している。								9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・肥後銀行SDGsステナビリティ推進室の指導を頂き、味岡建設企業グループでSDGsの推進と向上も目標し、SDGs委員会を立ち上げ、取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターナショナル等の受入れ】 ・職場体験、インターナショナルの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。